



No. 1043 2007-02-25

日本共産党 須佐支部  
電話 2016 fax 2223  
kinn2@haginet.ne.jp

### 山焼きにカルストの群 浮き立ちぬ

柳井山甫  
句集「郷巡り」より

無料配布は燃やせるゴミとプラスチックだけ

有料化されても、無料配布は継続してほしいという市民の声が多く、家族数に応じた無料配布がおこなわれます。(表参照) ただし、燃やせるゴミとプラスチックゴミだけで、不燃ごみは1枚目から有料になります。

### 無料配布の継続と料金の据え置きを

ゴミ袋の料金を上げ、市民の負担を増やすことはやめるべきです。また、旧萩市ではかつて70枚まで無料配布がおこなわれていまし

### リサイクル目標の引き上げも検討中

十二月議会中に、一般廃棄物処理基本計画の素案が示され、リサイクル率を24%以上とされています。

委員会で、環境衛生課長が、「24%としていたが、それで良いのか再検討した」とのべ、紙類の回収を全国レベルまで引き上げて、リサイクル率目標を28%



にしたいて考えていることを明らかにしました。

宮内議員が、第2リサイクルセンターも建設するのに、現在と同じレベルの24%で変わらないのは、事業効果の点でどうなのかと指摘

### 清掃工場煙突老朽化で修理必要

合わせて課長は、清掃工場の建て替えが懸案になっているが、煙突が老朽化し、修理が必要になっていると明らかにし、新年度予算に計上することを述べています。

## ゴミ袋 1枚 10円引き上げ 50円に

### 無料配布は増減し継続

萩市は、合併後調整するとしていたゴミ袋の料金を、現在の40円から50円に10円引き上げる議案を3月議会に提案する予定です。19日の萩市議会教育民生委員会でも市民部環境衛生課が明らかにしたものです。

#### 手数料を条例化する

これまで萩市では、ゴミ袋の料金は決まっています

#### ゴミ袋無料配布(案)

世帯人数	配布枚数
1~2人	30枚
3~4人	50枚
5人以上	60枚

課長は、「合併協議会では、町村部からは、1枚目から有料にすべきと言う意見があったが、萩市は年間70枚の無料配布をしていたので、継続という意見だった。まとまらないために、市長が現状のままいいことと言った。それも折り合わず、年間50枚の無料配布でとりあえずまとまった」と、合併後速



やかに調整するとしていたため、今回の提案となった」と述べました。

#### 回収にかかる費用を負担

今回の試算については、ゴミの収集にかかる費用を手数料で負担してもらうとしています。これには無料配布分の費用は除いて計算していると言っています。ゴミ袋の原価は1枚7円から8円と言っています。そのほかは人件費もしくは収集業務委託料となります。

なお、リサイクル率はゴミ排出量に対して、リサイクル量という単純な指数のため、数字だけの判断には誤解が生じる可能性があるとしています。たとえば、ゴミを分別せず固めて燃料にするRDF燃料化すれば、リサイクル率は一気に引きあがると指摘しました。しかし、萩市は分別をおこなって、資源化する方法をとると述べています。



# カエコの独り言

91 チーズに魔法をかけられた

お雛様を飾る如月の休日。もうすぐ弥生。春、はんなりとやってきました。

四国はボカボカだったよ。橋から見下ろす瀬戸の海は光柔らかくして、ゆりかごのように市民体育館よりも大きな船を抱く。その船、のんのののたりとどこまで貨物を運ぶんだろう。

松山にて一句  
坊ちゃんも 子規も見た空  
城の春

さて、今月は石田衣良さんの「美丘」を読む。最初のうちは、北川悦吏子さんが書いた青春ドラマを見ているように、懐かしさを感じながら読んだ。最後には我慢していた泣き声が気管に転がりこんじゃって、呼吸困難になりそうなくらい泣いてしまった。もうやばいくらいに……。久しぶりに本を読んで泣いたな。こういう小説を読むと、生きる

ことにちゃんと真摯に向き合わないとバチが当たりそうな気持ちになってしまう。大人の付き合いの中では、どうしても建前だけの作り笑顔になってしまうものだけ。かといって、ありのままに自由奔放に振舞うとジコチュウ人間だなんて勘違いされるし。だけど、自分らしく生きることは、大人になってもきつと大切なこと。



そんなことを思いながら、先日の雨の休日、チーズ作りを体験した。といっても、メモとシャーペンを持って見たり聞いたりしただけなんだけどね。

でも、無垢で深雪のような絞りたての牛乳から少しずつチーズが生まれるってことが、なんだかとても神聖で、愛おしくさえ感じた2時間だった。殺菌した牛乳にレンネットを入れて30分位

ねかせて固まるのを待って、その乳肌にとっとスプーンを入れてみたとき、思わず（なんて優しくて素直なんだろう・・・）と感動の溜息が洩れた。その美しい肌を切るときといたら、それはもうアートなのだ。カテージチーズを作ったあとの、濾した水分を熱して酢を入れて作ったリコッタチーズも美味しかった。クリームチーズを作るときも、滑らかに優しくはんなりと切る作業を見ていると、その表面は真っ白な陶磁器のオブジェのように見えてくる。シンプルだけど奥深い。とても魅力的だった。



そのチーズを分けていただいたので、翌朝、トーストにオレンジジャムと合わせてのっけて食べ、夕食には生ハムと大根のサラダに添えて食べた。母にその話をして山羊の話をしたら、「昔はヤギの乳を毎日飲んでいた」と言う。近所のおばさんが配達してくれてい

たそうだ。こんな町なかでも昔は山羊を飼っていたんだなとちょっと驚き。ハイジの食べたチーズも山羊のチーズなら、カエコも山羊のチーズを食べてみたい。昔、母が飲んだ山羊の乳の味は、どんな甘さでどんな匂いだったんだろう。ハイジの飲んだ乳の味と違うだろうか同じだろうか。

あーなんだかだんだん頭の中がハイジになってきた。ハイジが美丘ちゃんになってきた。「美丘」のこと思い出したら、胸の中が太一くん（その小説のなかにいる彼）になってきた。そう、カエコも太一くんのように自分らしく生きていくことを選択しよう。絞りたての乳からチーズが生まれてくるように、あんなふうには素直に生きられないかもしれないけど。

チーズ作りを体験した夜、親愛なる友人に電話をかけて3時間以上もしゃべった。

## リサイクル率を引き上げるカギは生ゴミ

萩市では、農村部においては、生ゴミの自家処理がおこなわれていますが、他は生ゴミを焼却しています。先進事例を見ても、生ゴミをリサイクルにまわすことが、これからのゴミ処理について肝心であることがわかります。

給食などの生ごみ排出者が、生ごみを一次乾燥したりリサイクル資源として提供し、さらに、リサイクル事業者が、この乾燥生ごみと木質系廃棄物を混合・発酵させてエコ堆肥を製造し、FGRに連携・協力しているエコ堆肥農家で使うのもです。



### 市民と一体になった取り組みが必要

FGRはおもに生ゴミ排出事業者、産業廃棄物対策です。萩市は大農村地域です。家庭の生ゴミをリサイクル

### 県道弥富小川線はやく開通して

鈴野川から小川に抜ける県道に落石があり、通行止めになりました。とても不便でやれませんが、無理をして通るのも危険なので早く開通するようお願いします。（小川 女性）

### 長期になる可能性も

この件は、たかさんの方が要望しています。市の土木課で

は、県が実態調査をしており、その結果を見ないとわからないということでした。奈良県で落石に巻き込まれた事故があり、実態調査を慎重におこなっているようです。場合によっては、工事が大規模になる可能性もあり、長期間の通行止めの可能性もあります。なお、本人判断での通行は絶対に避けてほしいということでした。

する仕組みをつくり、市民が主体になり、農協やスーパー、旅館ホテル、観光と連携した取り組みで生ゴミを焼却しない取り組みが求められます。焼却場に金をつぎ込まないためにも萩市では、清掃工場の老朽化がすすみ、建て替えが検討されています。市長は、ガス化溶融炉がもっとも有望だと述べています。ガス化溶融炉は、金食い虫です。建設費、維持管理費、消費エネルギー、温暖化ガス排出量など、重要なところで現在の方式より良い数値は示されていません。最終的に残った残渣を溶かして固めるため、最終処分場が必要ないというのが売り込みです。財政が厳しいときに金食い虫の焼却場を作るより、ゴミを減らす方向に力も知恵も金も使うほうが遥かに前進的です。そのためには、生ゴミの資源化を考え、焼却に頼らないゴミ処理を考えるべきです。世界にはその先進事例があります。